

2026年3月期(4-6月)

決算説明資料

2025年8月8日

130th Anniversary
Since 1895

KATO 株式会社 加藤製作所

1.セグメント(製造拠点)別状況	P.2
2.業績サマリー	P.3~4
3.連結損益計算書	P.5
4.連結貸借対照表	P.6
5.仕向け地別売上高推移(日本除く)	P.7~8
6.主要品目別売上高推移	P.9
7.主要品目紹介	P.10
8.株主還元	P.11
9.TOPICS	P.12~13

セグメント(製造拠点)別状況



進化の奥の更なる真価へ

※カッコ内は前年同期比増減率

日本セグメント

売上高
10,973百万円 (18.0%) ※

営業利益
△594百万円 (-%)

製造拠点	仕向け地	主要製品
▪茨城 ▪群馬	▪日本 ▪米国 ▪東南アジア ▪台湾 ▪中近東 など	▪建設用クレーン ▪油圧ショベル等

TOPICS 日本

- 国内向け中・大型建設用クレーンの販売が回復

TOPICS 米国(輸出先)

- 米国向け油圧ショベルは関税政策が不透明であったことから、顧客の投資判断が先送りされ減収

欧州セグメント

売上高
859百万円 (△23.9%) ※

営業利益
△83百万円 (-%)

製造拠点	仕向け地	主要製品
▪イタリア	▪EU諸国など	▪油圧ショベル等

TOPICS イタリア

- 欧州の景気減退を受け減収
- イタリア子会社に資本増強を実施

その他セグメント

売上高
903百万円 (28.5%) ※

営業利益
43百万円 (-%)

製造拠点	仕向け地	主要製品
▪なし	▪中国など	▪油圧ショベル等

TOPICS 中国

- 中国セグメントは売上規模の縮小に伴い、FY26から当該セグメントに組み入れ

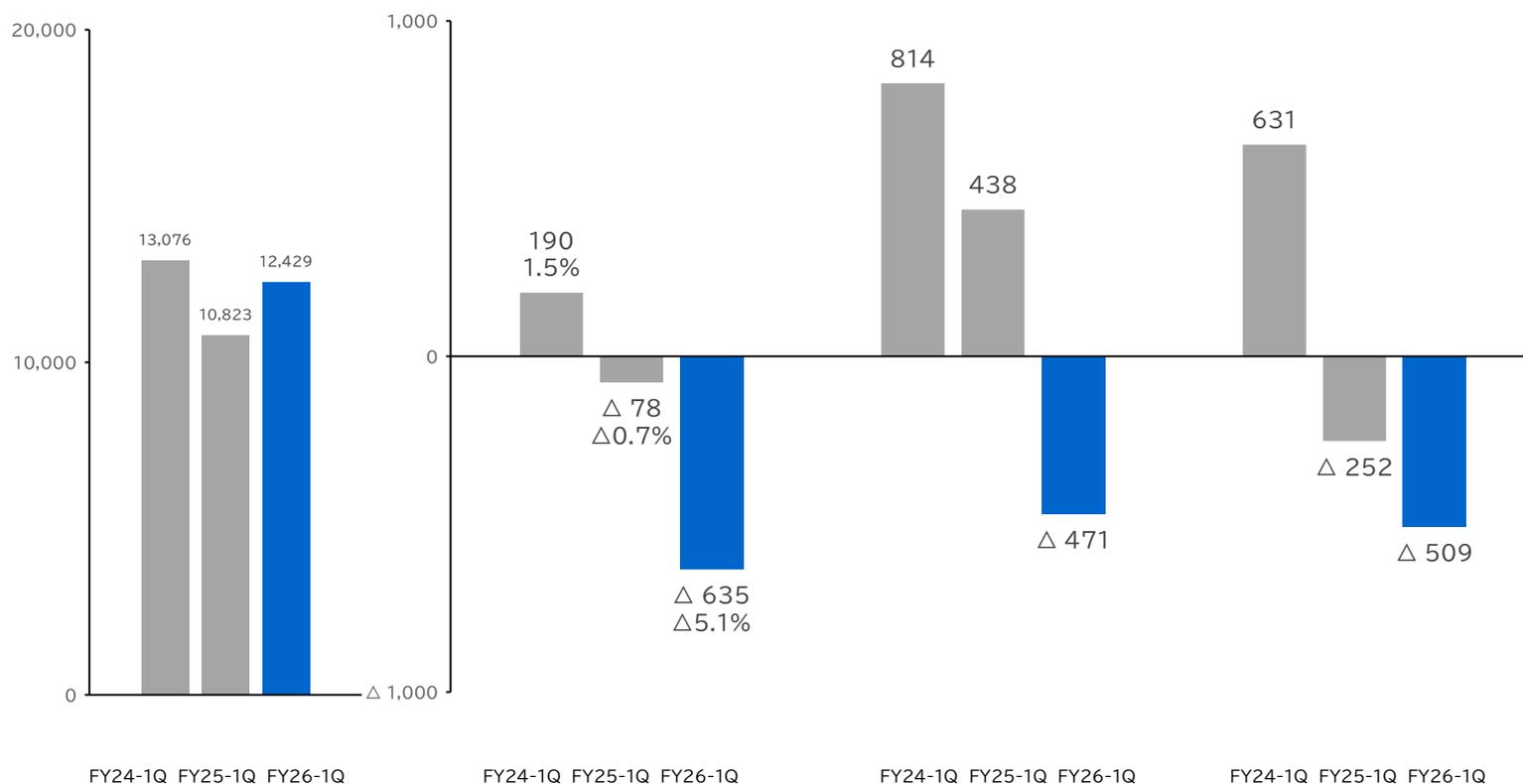
連結業績サマリー



進化の奥の更なる真価へ

(単位:百万円)

	売上高		営業利益・率		経常利益		親会社株主 当期純利益	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
FY26-1Q	12,429	14.8%	△ 635	-	△ 471	-	△ 509	-
通期連結 業績予想	57,000	7.7%	1,700	88.1%	1,200	△14.4%	1,200	-



連結業績サマリー(四半期毎の売上高・営業利益)

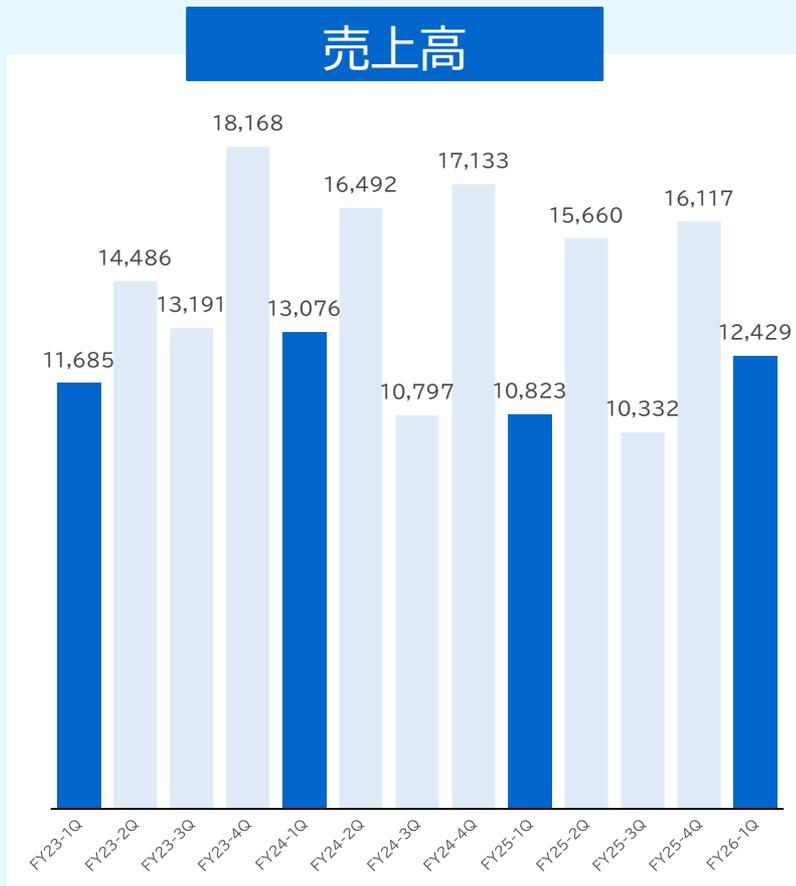


進化の奥の更なる真価へ

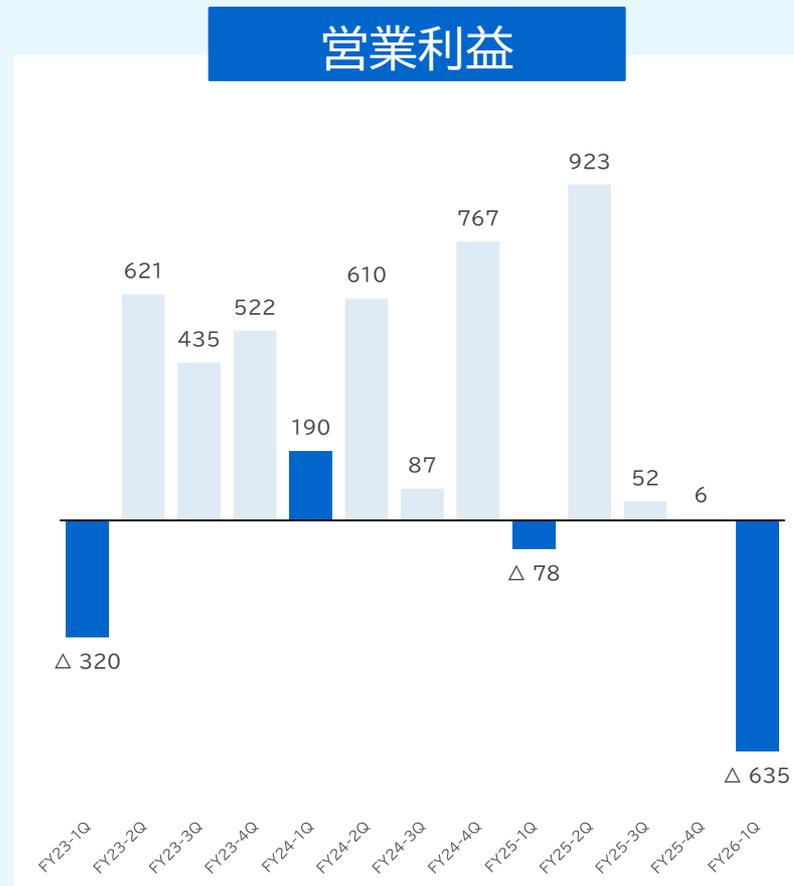
(単位:百万円)

✓季節性:2・4Qに収益が集中する傾向

売上高



営業利益



連結損益計算書



進化の奥の更なる真価へ

(単位:百万円)

	FY25-1Q		FY26-1Q		前年同期比	
	金額	比率	金額	比率	増減額	増減率
売上高	10,823	100.0%	12,429	100.0%	1,605	14.8%
売上原価	9,074	83.8%	11,140	89.6%	2,065	22.8%
売上総利益	1,749	16.2%	1,289	10.4%	△ 460	△26.3%
販管費	1,827	16.9%	1,924	15.5%	96	5.3%
営業利益	△ 78	△0.7%	△ 635	△5.1%	△ 556	-
営業外損益	517	4.8%	163	1.3%	△ 353	△68.3%
経常利益	438	4.0%	△ 471	△3.8%	△ 910	-
特別損益	△ 427	△3.9%	△ 3	0.0%	424	-
税前利益	10	0.1%	△ 474	△3.8%	△ 485	-
法人税等	270	2.5%	42	0.3%	△ 227	△84.2%
非支配株主当期純利益	△ 6	△0.1%	△ 7	△0.1%	0	-
親会社株主当期純利益	△ 252	△2.3%	△ 509	△4.1%	△ 257	-

✓**売上高**: 国内向け中・大型建設用クレーンの販売が回復および、油圧ショベル等の弾力的な販売施策等で前年同期比増収

✓**原価率**: 83.8% → 89.6%(5.8ポイント増加)たな卸資産評価損の計上等

✓**営業外損益**: 前年同期に計上した為替差益が剥落

連結貸借対照表

(単位:百万円)

FY25-4Q
総資産102,747

FY26-1Q
総資産97,264(Δ5,482)

流動資産 80,292		流動負債 40,630	
・手許資金	14,763	・仕入債務	10,536
・売上債権	17,983	・短期借入金	26,470
・たな卸資産	45,272	・その他	3,624
・その他	2,274		
固定資産 22,454		固定負債 17,513	
・有形固定資産	16,277	・長期借入金	17,308
・無形固定資産	1,318	・その他	205
・投資その他資産	4,858		
純資産 44,603			
		・利益剰余金	27,457
		・評価換算差額等	5,978
		・その他	11,167

資産

負債・純資産

流動資産 74,842		流動負債 37,865	
・手許資金	12,479	・仕入債務	9,051
・売上債権	16,293	・短期借入金	25,390
・たな卸資産	44,040	・その他	3,420
・その他	2,028		
固定資産 22,422		固定負債 16,347	
・有形固定資産	16,123	・長期借入金	16,147
・無形固定資産	1,318	・その他	199
・投資その他資産	4,980		
純資産 43,052			
		・利益剰余金	26,536
		・評価換算差額等	5,870
		・その他	10,644

資産

負債・純資産

✓売上債権 ※

・日本	16,178	→	14,565
・欧州	2,240	→	2,261
・その他	981	→	944

✓たな卸資産 ※

・日本	41,365	→	41,042
・欧州	3,220	→	3,002
・その他	819	→	152

※連結修正前の参考数値であり
貸借対照表の数値と一致いたしません

弾力的な販売施策等により、
売上債権・たな卸資産の適正化が
進行中

✓負債

キャッシュフローの改善に伴い
負債は減少

✓純資産比率

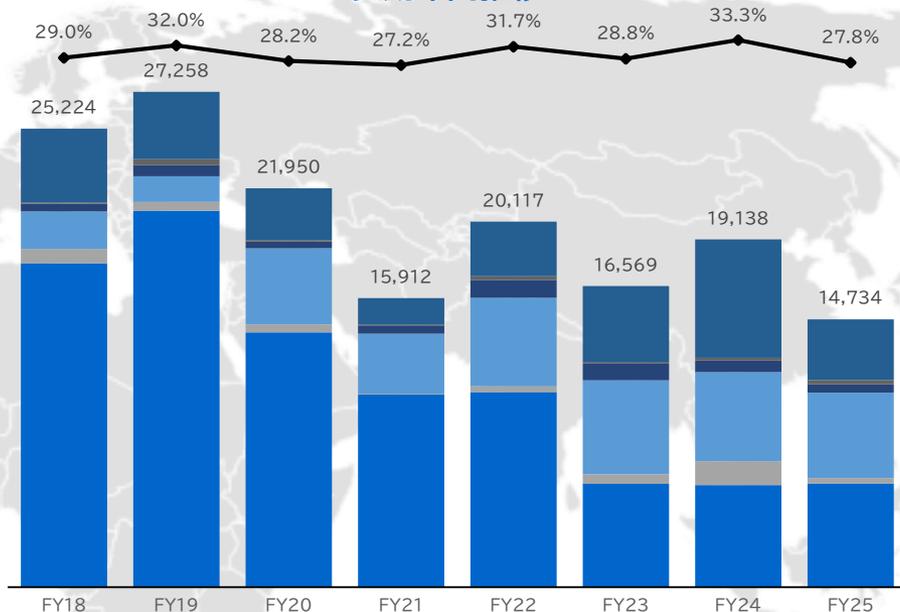
44.2%と財務健全性は維持

仕向け地別売上高推移(日本除く)

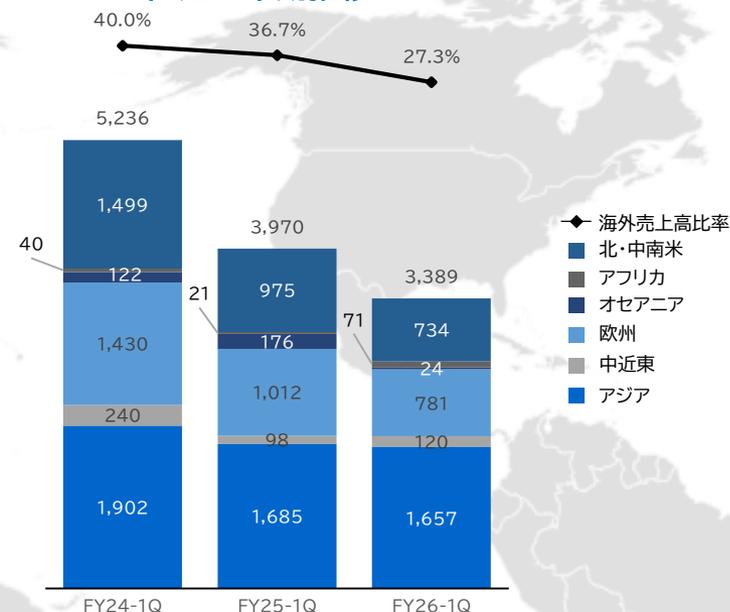
(単位:百万円)

	FY24-1Q		FY25-1Q		FY26-1Q		前年同期比		総売上高 構成比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
アジア	1,902	36.3%	1,685	42.5%	1,657	48.9%	△ 28	△1.7%	13.3%
中近東	240	4.6%	98	2.5%	120	3.6%	22	23.0%	1.0%
欧州	1,430	27.3%	1,012	25.5%	781	23.0%	△ 231	△22.9%	6.3%
オセアニア	122	2.3%	176	4.4%	24	0.7%	△ 151	△86.0%	0.2%
アフリカ	40	0.8%	21	0.6%	71	2.1%	49	226.4%	0.6%
北・中南米	1,499	28.6%	975	24.6%	734	21.7%	△ 241	△24.8%	5.9%
海外売上高合計	5,236	100.0%	3,970	100.0%	3,389	100.0%	△ 581	△14.6%	27.3%

長期年間推移



直近四半期推移

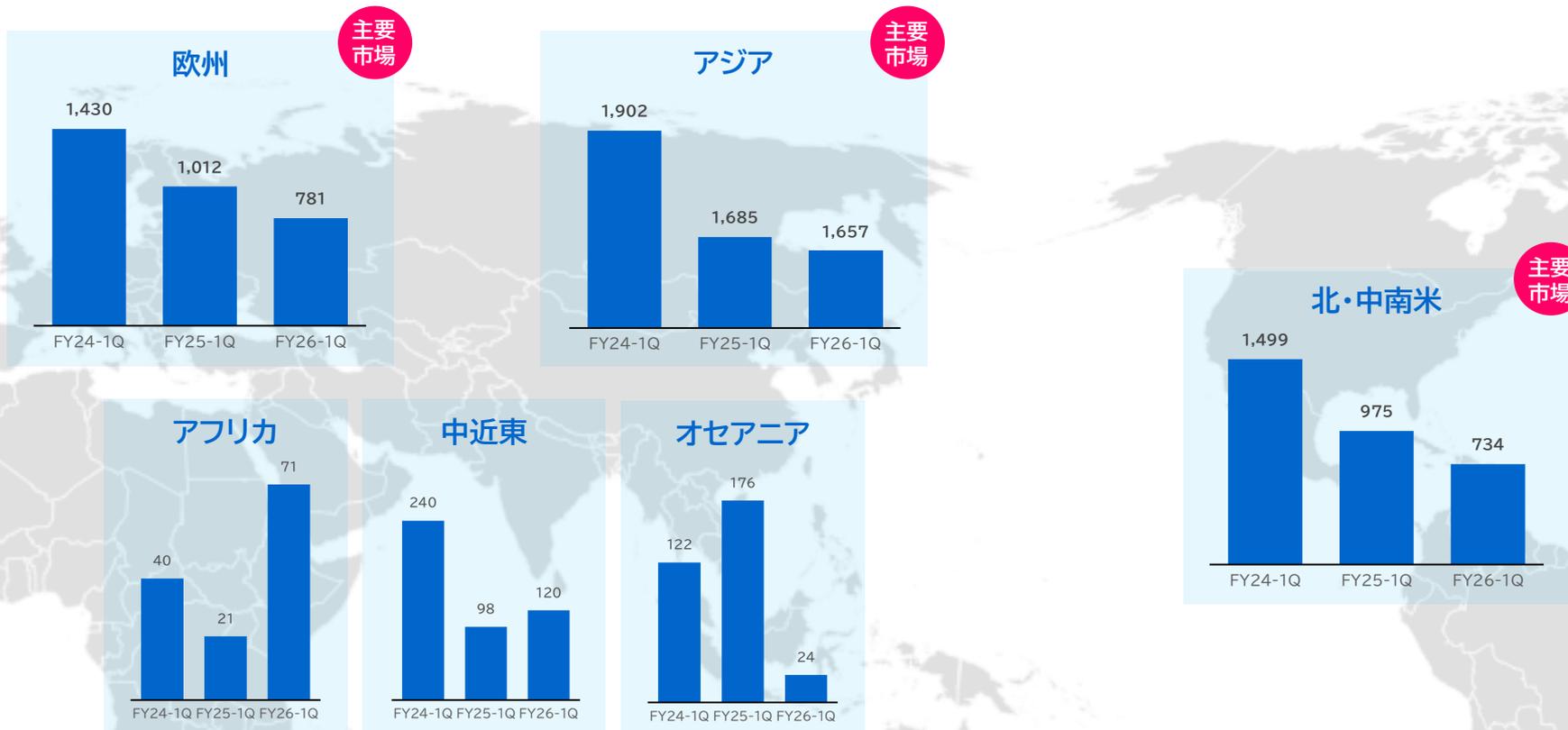


仕向け地別売上高推移(日本除く)

(単位:百万円)

海外市場における現状の取り組み

- ✓**北・中南米:**米国の関税政策の不透明さなどで減収したものの、中計にて掲げた収益基盤強化の取り組みを模索
- ✓**欧州:**欧州の景気減退を受け減収したものの、事業基盤強化のためイタリア子会社に資本増強を実施
- ✓**アジア:**中国事業の見直しを進めている中であっても、売上は前年同期比でおおむね横ばい
インドでは現地企業との合弁会社設立に向けた準備を進行中



主要品目別売上高推移



進化の奥の更なる真価へ

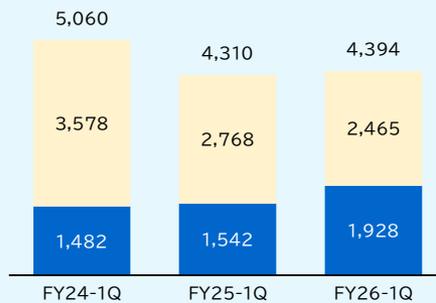
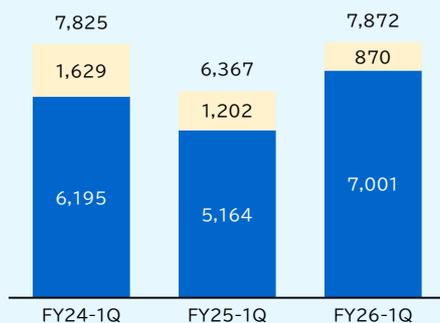
(単位:百万円)

	FY24-1Q		FY25-1Q		FY26-1Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
建設用クレーン								
国内売上高	6,195	47.4%	5,164	47.7%	7,001	56.3%	1,836	35.6%
海外売上高	1,629	12.5%	1,202	11.1%	870	7.0%	△ 331	△27.6%
計	7,825	59.8%	6,367	58.8%	7,872	63.3%	1,504	23.6%
油圧ショベル等								
国内売上高	1,482	11.3%	1,542	14.3%	1,928	15.5%	386	25.0%
海外売上高	3,578	27.4%	2,768	25.6%	2,465	19.8%	△ 302	△10.9%
計	5,060	38.7%	4,310	39.8%	4,394	35.4%	83	1.9%
その他								
国内売上高	162	1.2%	145	1.3%	109	0.9%	△ 36	△24.9%
海外売上高	27	0.2%	0	0.0%	53	0.4%	53	-
計	190	1.5%	145	1.3%	162	1.3%	17	11.7%
合計								
国内売上高合計	7,840	60.0%	6,853	63.3%	9,039	72.7%	2,186	31.9%
海外売上高合計	5,236	40.0%	3,970	36.7%	3,389	27.3%	△ 581	△14.6%
計	13,076	100.0%	10,823	100.0%	12,429	100.0%	1,605	14.8%

建設用クレーン

油圧ショベル等

その他

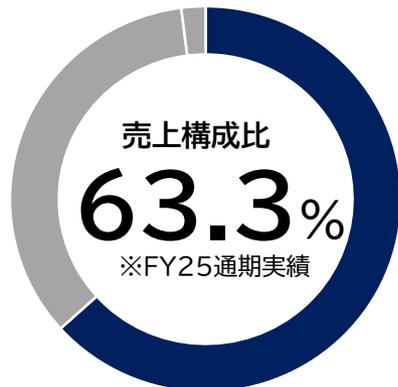


主要品目紹介



進化の奥の更なる真価へ

建設用クレーン



ラインナップ

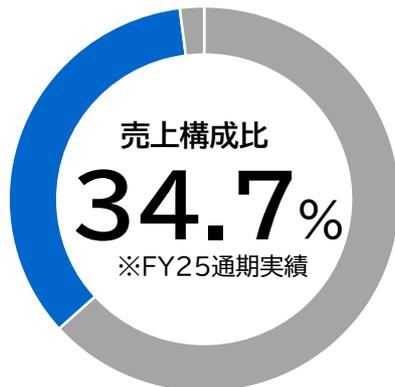


- ✓ラフテレーンクレーン ※車両運転席クレーン操縦席一体型
- ✓オールテレーンクレーン ※車両運転席クレーン操縦席分離型
- ✓クローラクレーン
など幅広い移動式建設用クレーンを製造・販売

用途

- ✓インフラ、ビル、住宅の建設現場などで使用

油圧ショベル等



油圧ショベル



- ✓ミニショベル (車両重量0.9~10t)
- ✓中大型ショベル (車両重量8~50t)
まで幅広く製造・販売
- ✓建設地の造成や建築物の解体などに使用

クローラキャリア



その他



路面清掃車



万能吸引車



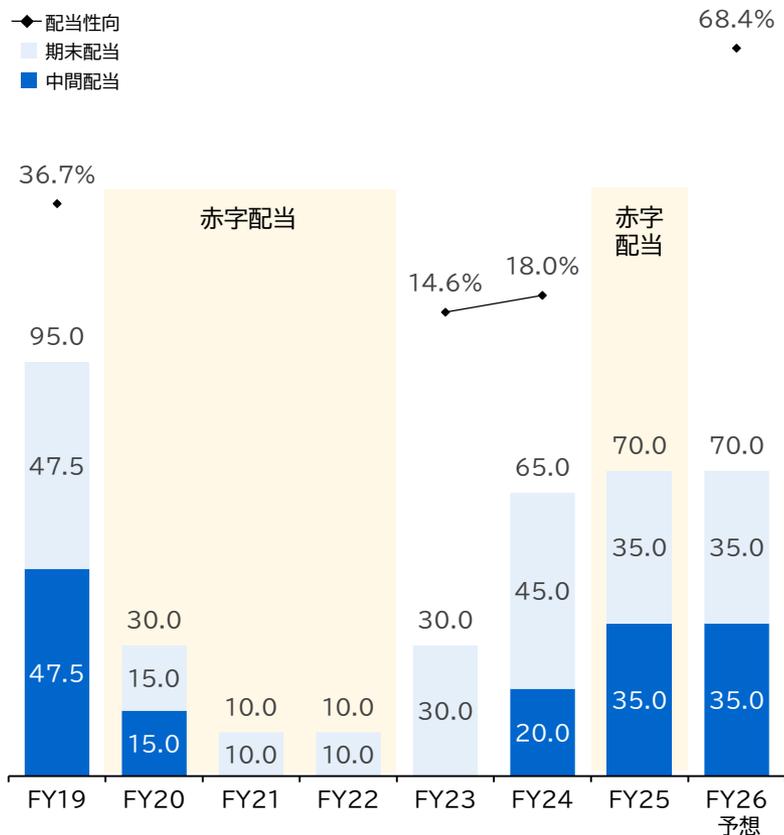
スノースイーパー



- ✓販売先は公的機関や空港など
売上構成比は低いものの、競合少なく
幅広い特装車を製造・販売

- ✓ **配当:** 2025年3月27日に公表した中期経営計画に基づき、今期の配当予想は1株当たり70円に設定
- ✓ **自己株式の取得:** 2025年5月15日～6月11日に発行済株式総数(自己株式を除く)に対し3.4%の株式を取得

配当



自己株式の取得(実施済み)

取得期間

2025年5月15日～6月11日

取得株式の種類

当社普通株式

取得した株式総数

400,000株 (発行済株式総数の3.4%)

取得価額総額

515,324,700円

取得方法

信託方式による市場買付

300t吊りオールテレーンクレーン KA-3000R 販売開始

※車両運転席クレーン操縦席分離型

KATO

進化の奥の更なる真価へ



特長

- ★キャリヤエンジンに最新の排出ガス規制（欧州Stage V）に適合したDaimler製エンジンを新搭載
- ★側方衝突警報装置を新規標準装備
- ★国土交通省「超低騒音型建設機械」の指定を取得

希望販売価格

410百万円(税別)より

発売日

2025年6月

販売目標

10台 / 1年

※2025年5月8日プレスリリース

2.8t吊り鉄塔建設作業用クレーン 「CSH36-6」販売開始

※組立定置式ジブクレーン

KATO

進化の奥の更なる真価へ



用途

山岳地や傾斜地での鉄塔建設作業における搬送・揚重作業を支援する専用クレーン
今後増加が見込まれる鉄塔新設・建替工事での活用を想定

特長

全ユニットを刷新し、組立・整備・輸送性を向上
・旋回ベアリングの取付やパワーユニットの構造を見直し、組立時間を短縮・作業負担を軽減
・傾斜角調整内蔵のアウトリガーの採用により、軽量化・組立工数を削減
・各部品の最適化により軽量化を実現、山岳地や狭所への輸送性が向上

希望販売価格

40百万円(税別)より

発売日

2025年6月

販売目標

20台 / 1年

※2025年6月25日プレスリリース

お問い合わせ先
コーポレートコミュニケーション部
〒140-0011 東京都品川区東大井1-9-37
E-Mail : ir-kato@kato-works.co.jp

注意事項

本資料に記載されている現在の計画や今後の見通しに関する内容につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて、計画・予想したものであります。

実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのため本資料におきましては、その実現を確約あるいは保証するものではありません。